

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 河内町立生板小学校

担当教諭名 東 英治

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年 1月26日(水) 10:30 ~ 12:15
対象学年と人数	5, 6年生(合計62名)
派遣講師名と出身国	シャ エムディ フォエズ(バングラディシュ) コッタゲ ワサンタ ペレラ(スリランカ) 坂本 幸子(コーディネーター)
活動の内容	・母国語のあいさつ・自己紹介 ・バングラディシュ, スリランカの紹介(国旗, 衣装, 場所, 生活の様子, ダンス) ・質問タイム ・講師の方とふれあい給食
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 本校では今年初めてこの事業を行ったが, 子どもたちの国際理解には大変有意義であった。来年度も前向きに検討したい。
生徒・保護者等参加者の感想	・バングラディシュの食事の仕方が日本と違って右手で食べることが分かりました。 ・国名の意味, クイズ, バングラディシュの服, 食べ物, 季節を教えてもらいました。中でも私が一番びっくりしたのは, 季節が6つもあることです。 ・スリランカの踊りを教えてもらい, とても楽しく踊れました。 ・私がとても印象に残っているのは, バングラディシュのドレスです。日本でも長いドレスは見たことがあったけど, 4メートルもあるドレスは初めてでした。
先生の感想	2名の講師の先生は子どもたちの前で話すことに慣れていて, 子どもたちはお話に聞き入っていた。スライドショーを使って説明してくださったため, 大変わかりやすかった。また, 国旗や民族衣装があり, 触ったり実際に着たりして体で感じることができ, 理解を深まった。ダンスを教えてもらい, 実際に踊ったことも理解を深めることに役立った。子どもたちは楽しくスリランカやバングラディシュのことを知ることができ, 時間が足りない穗であった。